

指導者のための情報紙

URL : <http://www.japan-sports.or.jp/saitamaken>

スポーツともだち仲間たち

No.3

発行：財団法人 埼玉県体育協会 埼玉県スポーツ少年団 〒336-0007 さいたま市浦和仲町3-5-8 県立武道館内

指導者協議会が組織改変し、再スタート

埼玉県スポーツ少年団指導者協議会評議員会が平成14年10月12日（土）に開かれ、20人の新役員を選出し新たにスタートしました。

本県の指導者協議会は昭和51年に全国に先駆けて結成され、本部の委員会的位置づけのもと、市町村指導者協議会と全国指導者協議会とのパイプ役として活動を開始しましたが、県内各市町村とのつながりがいいことから最近では休止状態が続いていました。

そうした中で、県内の各市町村では指導者協議会の結成が進み、県指導者協議会の果たすべき役割が改めて求められる状況となりました。

そこで、県スポーツ少年団では県内各市町村スポーツ少年団と連携し、指導者協議会の組織のあり方を検討・整理した上で、機能強化を図るため組織を改変して再発足したものです。

今後は、新たな体制のもと、指導者の資質向上を

図るための県本部への提言や提案などを協議していく場として積極的な活動が期待されています。

◆指導者協議会委員名簿

委員長 吉田敏雄（春日部市） 副委員長 野口英夫（白岡町） 内藤利夫（川越市） 佐久間義明（さいたま市） 加瀬幸子（さいたま市） 中野 忠（深谷市） 宇野木理恵（熊谷市） 委員 立花 彪（川口市） 田中敏雄（草加市） 福島和子（戸田市） 小野沢正雄（朝霞市） 土屋正男（上尾市） 佐久間典一（さいたま市） 江田政子（鶴ヶ島市） 岡野一平（日高市） 関克巳（東松山市） 小林容次（秩父市） 岸 輝美（久喜市） 平井よし子（久喜市） 藤田正彦（杉戸町）

◆吉田委員長の話「指導者協議会は、このほど組織を再構築し新たに生まれ変わりました。今後は、資質と指導力の向上を目指すとともに、指導者の声を広く収集・分析して県本部に提言するなど、指導者が活動しやすい環境づくりに努めていきたい」



総合型地域スポーツクラブ①

最近、「総合型地域スポーツクラブ」という言葉をよく見たり聞いたりすることが多いと思われまます。そこで、今回から総合型地域スポーツクラブとはどのようなものか、日本におけるスポーツクラブの現状と課題のほかスポーツ少年団とのかかわり、国・県・市区町村や体育協会の取り組み状況などについてシリーズでお知らせします。

スポーツクラブの現状と課題

現在の我が国のスポーツクラブを分類すると、活動拠点を持たない単一種日型のクラブがほとんどです。とくに青少年を主体としたスポーツ少年団等のクラブは、近年の少子化の影響で団員数が

激減したり廃団に追い込まれるケースも目立っています。

また、中学校の部活動においては生徒数の減少に伴い教員の数が減り、顧問（指導者）の配置が困難になり部活動そのものを廃止したり、地域の社会体育指導者を委嘱して部活動の存続を図ったりするほか、他校と合同で活動する動きが見られるなど、対応策に苦慮している状況が見受けられます。

そうした中で、国（文部科学省）は地域を主体に新たな形態のスポーツクラブ（「総合型地域スポーツクラブ」）を育成するための施策を打ち出し、既にモデル事業等を行っています。そこで、県スポーツ少年団本部では県体育協会と連携を図りながら、スポーツ少年団とのかかわりが深い総合型地域スポーツクラブを望ましいかたちで育成するための調査・研究に取り組んでいくことになりました。

平成14年度埼玉県スポーツ少年団 指導者現地研修会

平成15年1月25日(土)～26日(日) 栃木県鬼怒川温泉「ホテルニュー岡部」

現地研修会には、県内55の市町村から種目別の指導者及び市町村の役員など250名が参加しました。

例年行われている種目別大会の打ち合わせ、指導者相互の情報交換や交流のほか、昨年度実施したアンケート調査の結果、「情報交換や交流だけでなく研修的な内容を」という要望が多かったことから、今年度は、3つの事例発表が行われました。

〈全体会：基調講演〉

藤沼貞夫本部長による「これからの埼玉県スポーツ少年団について」の基調講演がありました。指導者協議会の紹介や創立40周年についての報告、今後の重点課題(5つ)についての提案がされました。



● 指導者の資質の向上

スポーツ少年団活動は教育の一環であり、指導者は子どもの将来の方向づけをする立場を担っています。子どものことについての知識を学び、さらにステップアップしていただきたいと思えます。

● 組織の整備

すべての市町村にはあてはまりませんが、しっかりと市町村本部を設置していただき、活動内容など充実させていただきたいと思えます。

● 13種目別大会について

少年団の立場にたった大会運営を心がけ、日常生活や学校生活、本部事業に支障をきたさないよう、ゆとりをもった大会日程を組んでほしいと思えます。また、試合に出られない子にも目を配ることもたいせつだと思えます。

● 総合型地域スポーツクラブについて

あまり難しく考えないで、地域の実状に応じ、単一種目でもいいですから地域の人たちが世代を超えて、交流できるように進めてください。

● 財政問題について

財政状況の厳しい中でも、活動を停滞させるわけにはいきません。経費節減や事業見直しを行うとともに、登録料についても考えなければと思っています。

〈事例発表〉

(1) 小学校単位における総合スポーツクラブ

発表者：野口英夫本部長(白岡町)

「何でも遊べるスポーツ」を目指して活動しています。子どもには多くの可能性があり、多くのスポーツを経験させることが必要であると考え、平成13年に設立しました。ひとつの小学校に野球・バレーボール・ソフトボール・レクリエーションの4種目あり、低学年は全員レクリエーションに入っています。団員が増えただけでなく、一緒に活動してくれる保護者も増え、遊ぶ時間帯を作ってくれます。月に一度は全員で活動し、スポーツ以外の活動(例：田植えなど)も行っています。

(2) 学校5日制と少年団活動

高橋 守本部長(上尾市)

スポーツ少年団の団員以外の子どもを対象にスポーツ教室を行っています。月1回、年10回で、市内の10会場で毎回2000人～3000人が集まります。主に体育協会の人に指導をお願いし野球・サッカー・ミニバスケットを行っています。少年団としての効果は新たに、3つの単位団と100名近くの団員が増えました。

(3) 団員募集の実例

市野彰俊本部長(飯能市)

広報紙とは別に募集のチラシを作りました。学校によって少年団に対する協力度に温度差がありましたが、粘り強く校長先生を説得し協力していただきました。親に対しては、学校からの配布ということが重要で、これによって効果もだいぶ違います。これにより、減少傾向だった団員数が、チラシを配布した年から増え始めました。



埼玉県スポーツ少年団

創立40周年記念事業 終わる

平成14年度埼玉県内各地で行われていた『埼玉県スポーツ少年団創立40周年記念大会』は、朝霞市で行われた駅伝競走大会をもって終了しました。

埼玉県スポーツ少年団創立40周年記念
第20回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会

平成15年2月11日(祝)

朝霞市中央公園陸上競技場

前夜からの雨に開催が心配されましたが、予定通り大会を開催することができました。インフルエンザが流行し4チームが棄権しましたが、男子47チーム、女子33チームが出場しました。走路コンディションの悪い中、全チーム、全選手、無事に走り抜くことができました。

男子1位 柏葉ミニバスケットボールスポーツ少年団(志木市)

女子1位 新座新開スポーツ少年団(新座市)



埼玉県スポーツ少年団創立40周年
記念式典・記念パーティー

平成14年11月17日(日)

浦和東武ホテル

記念式典では、創立40周年記念表彰として、功労者100名に表彰状が、また彩の国安全・安心事業協会、ロータリークラブ2570地区、池原昭治様に感謝状が贈られました。続いて、日本スポーツ少年団顕彰による表彰の伝達が行われました。

記念パーティーでは、主催者挨拶、お祝いの言葉に続いて鏡開きが行われ『よいしょ、よいしょ、よいしょ』の盛大なかけ声が会場に響き渡りました。

また、朝霞フレンドリーズ指導者の宮田蝶子さんがお仲間3名とともに、マンドリンの生演奏で華を添えてくださり、和やかなうちにお開きとなりました。



平成14年度種目別交流大会主な結果 平成14年9月～平成15年2月

<サッカー>

第31回埼玉県サッカー大会

11月10・17・24日埼玉スタジアムほか
優勝 新座片山FC(新座市)

<ソフトボール>

第25回ソフトボール中央大会

9月1・8日 北本市総合公園

男子優勝 神根東スポーツ少年団(川口市)

女子優勝 川口エンジェルズスポーツ少年団(川口市)

<バレーボール>

バレーボール交流大会

2月1・2日 上尾市民体育館

男子優勝 嵐山ガッツ(嵐山町)

女子優勝 大井クッキーズ(大井町)

<空手道>

第18回空手道交流大会

9月1日 北本市体育センター

形の部小学5・6年

男子優勝 中島 諒(講武会)

女子優勝 秋山 未来(日空会)

組手の部小学5・6年

男子優勝 国府田治樹(八潮市)

女子優勝 月井 隼南(維新館)

<バドミントン>

第21回バドミントン大会

12月8日 久喜市体育館

団体戦優勝 所沢ジュニアバドミントン(所沢市)

<剣道>

第26回剣道交流大会

9月1日 秩父市文化体育センター

団体戦 高学年の部

男子 天馬少年剣友会A

女子 原谷剣道

スポーツ少年団活動の安全対策 十分な活動計画を!

スポーツ安全保険の改訂

スポーツ安全保険の子供の団体の指導者の加入区分が変更になります。

Table with 3 columns: Category, Current Division (平成15年度加入区分), and Revised Division (平成15年度加入区分). Rows include 'Child's guardian' and 'Child's team supervisor'.

保護者とは...団体の保護者であり、スポーツ活動を行わない方(送迎、準備、片づけのみ)
指導者とは...指導者の資格の有無を問わず、スポーツ活動を行う方(実技、理論指導および補助)

補償の範囲は決まっています。

(例) 学校のガラスを割ってしまった。

9,000円(実費) - 免責1,000円 = 8,000円補填

*サッカーの試合中、応援の方にボールがあたりメガネが壊れた。<野球のファールボールの扱いと同じく、補填されなかった>

事故が起きてしまったからでは、遅いです。各単位団にて十分検討され、万全の体制での活動をお願いします。くわしくは、(財)スポーツ安全協会ホームページまたは2月~3月に配布されたパンフレット、「スポーツJUST」1月号、2月号を参照してください。

平成15年度埼玉県スポーツ少年団種目別大会日程(予定)

軟式野球

- ① 第22回夏季小学生軟式野球交流大会
6月8日・14日・15日 加須市 650名
② 第27回小学生軟式野球交流大会
10月12日・19日・25日 さいたま市 650名
③ 第26回中学生軟式野球交流大会
8月2日・3日・10 春日部市 450名

サッカー

第32回埼玉県サッカー少年団大会
11月9日・16日・23日 埼玉スタジアム他 483チーム

ソフトボール

第26回ソフトボール中央大会
8月31日・9月7日(予備14日) 岡部町山河グラウンド

空手道

第19回空手道交流大会
9月7日 北本市体育センター 750名

バレーボール

- ① 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会埼玉県予選
1月11日・12日 富士見市総合体育館・上尾市民体育館
男25チーム 女135チーム
② 関東ブロック競技別大会埼玉県予選
4月29日 総合開会式 7月6日 決勝大会 川越総合体育館
男25チーム 女135チーム

バスケットボール

- 第22回ミニバスケットボール交流大会
7月5日・6日 東部地区
4地区予選関東大会参加チーム決定
第4回ジュニアリーダーク大会(中学生)
7月27日 新座市民総合体育館 30チーム
第13回フレッシュミニバス大会(小学4年生以下)
県内各地 280チーム

柔道

第25回柔道親善大会
8月24日 岩槻市榎の森スポーツセンター
1250名 52団体
小学1年から中学3年までの男女
個人戦各学年男女 団体戦

複合

第23回複合種目川越市大会

9月6日・7日 名栗村 350名
カヌー体験を中心の野外活動

ソフトテニス

第24回ソフトテニス交流大会
中央大会 8月23日(予備24日) 熊谷市
南部地区交流大会 6月28日(予備7月12日) 川口市
北部地区交流大会 7月19日(予備7月26日) 東松山市
450組

バドミントン

第22回バドミントン大会団体戦・第10回個人戦
団体戦 12月13日 久喜市体育館
個人戦 3月6日 蓮田市総合体育館

剣道

ブロック大会
東部A 6月22日 岩槻市 東部B 6月22日 春日部市
西部 5月25日または6月1日 都幾川村
南部 6月29日 草加市
北部 6月22日 熊谷市

県交流大会

8月31日 宮代町総合体育館

全国予選大会

12月7日 春日部市総合体育館

卓球

11月 川口市

駅伝

2月11日 朝霞市

編集後記

昨年度、創立40周年を迎えた埼玉県スポーツ少年団。次の節目に向けて新しい活動を展開したいと思います。今後も、おもしろい活動や話題、取り上げてほしい問題などありましたら、何でも結構ですのご一報ください。埼玉県スポーツ少年団事務局気付「育成広報委員会」〒336-0007さいたま市浦和仲町3-5-8 県立武道館内 TEL:048(822)5171 FAX:048(822)5174 E-mail:saitamaken@japan-sports.or.jp